

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	災害発生時の拠点施設及び情報伝達手段の整備		事業実施主体	市
	事務事業	デジタル式同報系防災行政無線整備事業		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	地震や風水害などの自然災害や武力攻撃などの緊急事態の場合、市民等へ迅速かつ確実に情報を伝達するため、屋内で災害時の緊急情報等を受信できる防災ラジオの普及を図る。 なお、市内全域におけるデジタル式同報系防災行政無線屋外拡声子局の拡充整備は、平成27年度完了した。				
	30年度概要	防災ラジオの製作委託 FM高松 565台 地域振興波 1,026台 防災ラジオ難聴地対策 アナログ式同報系防災行政無線撤去工事			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	全市民
意図（どのような状態にしたいか）	災害時には市民への多様な情報伝達手段が必要であることから、その手段の一つが確保され、災害情報伝達の向上が図られる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
各年度における防災ラジオ整備進捗率	%		76.4	80.3	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	防災ラジオ普及率	%	目標値		68.3	79.5	100	100
			実績値		76.4	80.3		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標としていた防災ラジオ普及率を達成することができた。 (目標達成度)							(達成度) 101.0% 35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	404,900	133,424	49,919	58,667
（事業費）	[円]	393,384	126,358	42,332	51,839
（職員人件費）	[円]	11,516	7,066	7,587	6,828

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

防災ラジオの普及率は、FM高松タイプが74.3%、地域振興波タイプが92.6%となり、目標通りに普及しており、今後も普及啓発に努めていく。また、難聴地域が存在するため、伝播状態を調査しながら、対策に取り組んでいく。
デジタル式同報系防災行政無線については、設計内容の検討に日時を要したため30年度へ繰越となった。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

防災ラジオについては、平成30年度まで目標に沿って普及啓発に努め、合わせて、難聴地域への有効な対策を検討していく。また、デジタル式同報系防災行政無線整備については、繰越事業は速やかに完了させるとともに、アナログ式防災行政無線の撤去工事等を行っていく。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	財政局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理センター整備室
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2261
	基本事業	災害発生時の拠点施設及び情報伝達手段の整備		事業実施主体	市
	事務事業	危機管理センター（仮称）等整備事業（危機管理センター整備室分）		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要
 大規模災害等発生時の的確な初動体制を確保するとともに、市民に適切な情報を提供し、震災などに迅速かつ総合的に対応する危機管理体制を構築するため、常設の災害対策本部室のほか、危機管理課や消防局、香川県広域水道企業団等を配置し、これらが密接に連携することにより24時間体制で適切な災害対応を行う「高松市防災合同庁舎（危機管理センター）」を、本庁舎西側に整備する。

30年度概要	移転業務委託等 6,680千円 仮設駐車場等撤去工事（繰越） 22,764千円 関連システム整備（危機管理）（繰越）
--------	------------------------------------------------------------------------

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	----	---------	------------

【事業の目的】

対象（何を）	高松市防災合同庁舎（危機管理センター） 旧呼称：高松市危機管理センター（仮称）等
意図（どのような状態にしたいか）	本市の防災対応の中核拠点として、常設の災害対策本部室のほか、危機管理課、消防局、下水道部、情報政策課、香川県広域水道企業団を配置した施設を整備する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
整備事業の進捗率（事業費ベース）単年度	%		53.8	88.5	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	危機管理センター（仮称）等施設整備進捗率	%	目標値		47	95	100	100
			実績値		41.5	95		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 建物工事については当初予定どおり完了している。今後、順次関係部署の移転を行い、5月下旬には全ての部署で業務を開始する。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	239,527	1,274,755	7,202,157	976,926
（事業費）	[千円]	198,071	1,229,219	7,148,289	923,058
（職員人件費）	[千円]	41,456	45,536	53,868	53,868

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

建物工事については予定どおり完了し、引き続き関連システムの整備に取り組んでいるところである。今後においては、5月中の関係部署移転・業務開始に向け、遺漏のないよう準備を進める必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

関係部署移転及び関連システム整備については、関係所属・施工者との連携を密にし、準備等に漏れのないよう十分留意する。なお、建物工事が完了したことから、関係部署の移転及び関連システム整備の終了をもって本事業は完了とする。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	H29上下水道局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	H29企業総務課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	
	基本事業	災害発生時の拠点施設及び情報伝達手段の整備		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計)危機管理センター(仮称)等整備事業(香川県広域水)		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	大規模災害等発生時の的確な初動体制を確保するとともに、市民に適切な情報を提供し、震災などに迅速かつ総合的に対応する危機管理体制を構築するため、常設の災害対策本部室のほか、危機管理課や消防局、香川県広域水道企業団等を配置し、これらが密接に連携することにより24時間体制で適切な災害対応を行う「高松市防災合同庁舎(危機管理センター)」を、本庁舎西側に整備する。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

30年度概要	参考 移転業務委託 12,225千円 初度調弁 35,108千円 (H29繰越)
--------	---------------------------------------------------

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	----	---------	------------

【事業の目的】

対象(何を)	高松市防災合同庁舎(危機管理センター) 旧呼称:高松市危機管理センター(仮称)等
意図(どのような状態にしたいか)	本市の防災対応の中核拠点として、常設の災害対策本部室のほか、危機管理課、消防局、下水道部、情報政策課、香川県広域水道企業団を配置した施設を整備する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
整備事業の進捗率(事業費ベース)単年度	%			88.5	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	危機管理センター(仮称)等施設整備進捗率	%	目標値			95	100	100
			実績値			95		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 建物工事については当初予定どおり完了している。今後、順次関係部署の移転を行い、5月下旬には全ての部署で業務を開始する。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]			12,193	47,333
(事業費)	[千円]			9,804	47,333
(職員人件費)	[千円]			2,389	

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

建物工事については予定どおり完了し、引き続き関連システムの整備に取り組んでいるところである。今後においては、5月中の移転・業務開始に向け、遺漏のないよう準備を進める必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

関係部署移転及び関連システム整備については、関係所属・施工者との連携を密にし、準備等に漏れのないよう十分留意する。なお、建物工事が完了したことから、移転、執務環境の整備及び関連システム整備の終了をもって本事業は完了とする。
